

科目区分	教養科目	授業科目名	日本文化概論			科目コード	23S005	担当者	大町 福美、西田 聖子			担当形態	オムニバス
対象学科・コース	生活創造学科 栄養士コース	配当年次	2年次	開講学期	後期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件			
授業形態	講義	履修条件							教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分			
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び科目との関連								科目に含めることが必要な事項		

授業の主題	日本の美しい四季を通して「日本のこころ」について学ぶ。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	毎回提出される感想レポートに対し所見を述べ、疑問に答えます。
授業の方法	[大町] プリントを配布し板書しながら講義形式で行う。華道教授にいけばなを実演して華道の知識を深める。また学生も花を生ける機会がある。 [西田] 講義形式で行う。実際に点前を見せる。	アクティブ・ラーニングの実施方法	

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	オリエンテーション (担当: 大町・西田)	授業内容を振り返り、次回以降に向けての学習の準備を行う	第9回	茶の湯とは (担当: 西田)	授業内容についてレポートにまとめる	
第2回	いけばなの成り立ち (歴史) (担当: 大町)	授業内容についてレポートにまとめる	第10回	茶の湯の神髄に触れる、茶席のお菓子、茶花について、千利休居士と三千家系譜 (担当: 西田)	授業内容についてレポートにまとめる	
第3回	いけ方の基本 (用具・花器・技法) (担当: 大町)	授業内容についてレポートにまとめる	第11回	茶道の歴史①、陶磁器 (担当: 西田)	授業内容についてレポートにまとめる	
第4回	自由花 (特徴・表現・構成法) (担当: 大町)	授業内容についてレポートにまとめる	第12回	茶道の歴史②、お茶を飲みながら焼き物 (茶碗) の分類を学ぶ、茶碗の鑑賞をする (担当: 西田)	授業内容についてレポートにまとめる	
第5回	実技①自由花 (担当: 大町)	授業内容についてレポートにまとめる	第13回	茶室建築と露地、茶会開催の案内状、茶会の方法、懐石等 (担当: 西田)	授業内容についてレポートにまとめる	
第6回	実技②自由花 (担当: 大町)	授業内容についてレポートにまとめる	第14回	茶の心、茶の歴史、茶会、茶道具、茶室・露地についてのまとめ (担当: 西田)	授業内容についてレポートにまとめる	
第7回	生花 (正風体・新風体) (担当: 大町)	授業内容についてレポートにまとめる	第15回	茶会開催 (幸雲庵見学) (担当: 西田)	授業内容についてレポートにまとめる	
第8回	立花 (正風体・新風体) (担当: 大町)	授業内容についてレポートにまとめる			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	必要に応じて資料等を配布します。	受講生へのメッセージ	華道は、数百年という悠久の時の流れの中で結実した世界に誇れる文化です。茶の湯の芸術性、精神性にふれ、伝統文化・自己表現としての「お茶の世界やその心」を学びます。また、茶道の文化体系としての構造や成り立ちを知り、茶の湯に関わる基本的知識等を学びます。 日本の審美の世界である「華道と茶道」は、あなたの心と人生を豊かにします。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

評価基準																	
	学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	学修成果の 配点比率(%)	評価方法の配点比率(%)						学修成果の小分類			尺度				
				定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S : 100~90%)	レベル4 (A : 89~80%)	レベル3 (B : 79~70%)	レベル2 (C : 69~60%)	レベル1 (F : 59%以下)
観点	尽心	① 誠実性															
		② 倫理観															
	知識・技能	③ 知識	80		70		10	いけばなや茶の湯の歴史や基礎知識を十分に有し、他者にも説明ができる。	専門知識	レポート	いけばなや茶の湯の歴史や基礎知識を十分に有し、他者にも説明ができる。	いけばなや茶の湯の歴史や基礎知識を十分に有し、他者にもある程度説明ができる。	いけばなや茶の湯の歴史や基礎知識を有し、他者にも説明ができる。	いけばなや茶の湯の歴史や基礎知識をある程度有し、他者にも説明ができる。	いけばなや茶の湯の歴史や基礎知識が不十分であり、他者に説明ができない。		
		④ 技能															
	創造	⑤ 数量的スキル															
		⑥ 問題解決力															
	表現	⑦ 言語的スキル															
		⑧ コミュニケーションスキル															
	実践	⑨ 主体性	20		10		10	他者とコミュニケーションを取りながら、主体的に楽しんでいけばなや茶の湯に取り組むことができる。	主体性	作品(いけばな)、レポート	他者とコミュニケーションを取りながら、主体的に楽しんでいけばなや茶の湯に取り組むことができる。	主体的に楽しんでいけばなや茶の湯に取り組むことができる。	楽しんでいけばなや茶の湯に取り組むことができる。	ある程度楽しんでいけばなや茶の湯に取り組むことができる。	楽しんでいけばなや茶の湯に取り組むことができない。		
		⑩ 協働性															
合計			100		80		10	10									